

感染症胃腸炎に引き続き注意しましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 171	186	百日咳	↑ 5	0
RSウイルス感染症	↓ 33	49	ヘルパンギーナ	→ 6	6
咽頭結膜熱	↓ 8	15	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 33	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 78	99	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 667	581	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 12	14
水痘	↓ 30	42	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 62	44	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 3	4	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↓ 33	36	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 9	5

報告が多い感染症  
 ● 感染性胃腸炎  
 ● インフルエンザ  
 ● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域  
 感染性胃腸炎 : 山鹿、有明、菊池、八代  
 咽頭結膜熱 : 菊池  
 流行性耳下腺炎 : 人吉

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	40	11	1	23	124	5	15		9		2	2		12		0	0			5
山鹿保健所	4	2			42	3	5		3				*	*		0	0			
菊池保健所	19	7	5	18	141	3	9		8		1	3				0	0			
阿蘇保健所	1			1	22								*	*		0	0			
御船保健所	13	1			22								*	*		0	0			
八代保健所	41	2		1	81		3		3							0	0			
水俣保健所	3	1	1		1	5					1		*	*		0	0			
人吉保健所	11	5		12	41	5	3	1		5		23	*	*		0	0			3
有明保健所	18	1		7	137	5			6			4				0	0			1
宇城保健所	15	3	1	8	28	2	17	1	1			1	*	*		0	0			
天草保健所	6			8	28	2	10	1	3							0	0			
計	171	33	8	78	667	30	62	3	33	5	6	33	0	12	0	0	0	0	0	9

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	171	1	3	3	7	5	8	5	7	7	6	9	32	10	4	18	11	15	9	6	5
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	33	8	11	9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	8	0	1	4	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	78	0	0	0	3	12	16	15	7	8	4	3	9	0	1						
感染性胃腸炎	667	3	29	97	67	58	59	52	58	45	36	39	58	5	61						
水痘	30	0	0	5	5	2	7	4	4	1	1	1	0	0	0						
手足口病	62	0	2	21	12	14	8	4	0	1	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	3	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0						
突発性発しん	33	0	19	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	6	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	33	0	0	2	8	7	2	1	4	2	2	2	2	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	12	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	2	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	9	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

前週は、前々週より微減していた感染性胃腸炎ですが、今週の報告数は667件と、前週より再度増加しました。依然、報告が多い状況が続いています。感染予防対策をしっかり行いましょう。ノロウイルスやロタウイルスは感染力が強く、普通のせっけんやアルコールではウイルスは死滅しません。嘔吐物や下痢便の処理には、塩素系漂白剤を用いて消毒しましょう。

年齢別にみると、前週では10~14歳の年齢層に多かった感染性胃腸炎ですが、今週は1歳児に多くなっています。乳幼児が感染性胃腸炎にかかること、年長児よりも容易に脱水になりやすいので、注意しましょう。嘔吐や下痢の症状がある乳幼児には、こまめに水分補給をさせ、ぐったりするなど症状がひどいときは、早めに医療機関を受診させましょう。特に6ヵ月~2歳程度の乳幼児に多く、他のウイルスによる胃腸炎より重症化しやすいのがロタウイルスによる胃腸炎です。ロタウイルスには予防接種があり、生後6週以降接種可能になっています。



感染性胃腸炎に注意しましょう

